

## (4) 平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

平成28年の発酵乳・乳酸菌飲料市場は、国民の健康志向に支えられ順調に拡大した。一方、健康食品全般を対象とした表示適正化の要求が高まり、行政庁による指導が強化された。また、衛生面においては、すべての食品事業施設を対象にしたHACCP衛生管理の制度化の方向性が示されるなど業界を取り巻く環境は大きく変化した。

これらの状況の下、本協会は、① 食品安全の確保 ② 食品表示の適正化 ③ 乳酸菌情報の積極的な発信を重点課題として事業を実施した。

### 1. 衛生及び品質の向上に関する事業

#### (1) 食品衛生セミナーの開催

管理職を対象に、食品衛生行政の動向把握を目的としたセミナーを開催した。

##### ア 演題

##### (ア) 食品安全行政の現状と課題

― 道野英司 厚生労働省監視安全課長（東京）

― 川越匡洋 厚生労働省監視安全課乳肉安全係長（大阪）

##### (イ) 「総合衛生管理製造過程」の承認等における最近の動向と導入施設における衛生上の課題

― 中村真寿美 関東信越厚生局食品衛生課衛生専門官（東京）

― 仲庭裕司 近畿厚生局食品衛生課長（大阪）

##### イ 開催日/場所/参加者数

(ア) 東京会場：平成28年9月1日/グランドヒル市ヶ谷/51名

(イ) 大阪会場：平成28年9月8日/メルパルク大阪/33名

#### (2) 食品表示セミナーの開催

管理職を対象に、平成27年施行された新しい食品表示基準の普及・定着を図り、また、平成28年6月に改正された消費者庁通知「健康食品に関する景品表示法及び健康増進法上の留意事項について」の周知を目的としたセミナーを開催した。

##### ア 演題

##### (ア) 新しい食品表示制度について

― 丸子直人 消費者庁表示企画課課長補佐

(イ) 食品表示規制の執行等について

－田中誠 消費者庁表示対策課食品表示調査官

イ 開催日/場所/参加者数

平成28年9月21日/グランドヒル市ヶ谷/89名

(3) 生産技術・衛生講習会の開催

製造管理担当者を対象に、発酵乳・乳酸菌飲料の製造工程ごとの品質管理のポイント、また、乳機器メーカーが推奨する最新の洗浄・消毒及びメンテナンス方法の習得を目的としたセミナーを全国7都市で開催した。

ア プログラム

(ア) HACCPとその適用のポイント

－協会専務理事

(イ) 発酵乳・乳酸菌飲料製造における工程別衛生管理手段

－協会派遣専門家

(ウ) 製造機器の洗浄・消毒及び保守管理のポイント

－(一社)日本乳容器・機器協会派遣専門家

イ 開催月/場所/参加者数

－開催月：平成28年9月～11月

－開催場所：東京、名古屋、大阪、福岡、広島、札幌及び仙台

－参加者数：計156名

(4) ビフィズス菌検査研修会の開催

品質管理担当者を対象に、ビフィズス菌・乳酸菌についての知識及びこれらの検査技術の向上を目的とした研修会を開催した。

ア プログラム

－講義

(ア) 乳酸菌とビフィズス菌の基礎 (細野明義 信州大学名誉教授)

(イ) 発酵乳・乳酸菌飲料における微生物学の基礎と検査方法

((公財)日本乳業技術協会)

－検査実習 ((公財)日本乳業技術協会)

(ウ) ビフィズス菌数試験法

(エ) 乳酸菌数試験法

(オ) 大腸菌群試験法

イ 開催日/場所/参加者数

－開催日：第一回：平成29年1月30日・31日

第二回：平成29年2月6日・7日

－開催場所：(公財)日本乳業技術協会

－参加者数：計16名

2. 製造技術・製造施設の改善及び経営・流通の合理化に関する事業

会員企業及び流通大手企業を訪問し、取材記事を「乳酸菌ニュース」に掲載した。

(1) 会員企業の経営理念、事業展開、今後の戦略等の紹介

協力企業：カゴメ(株)、愛知ヨーク(株)、北海道乳業(株)、  
萩原乳業(株)

(2) 流通大手の基幹店における発酵乳・乳酸菌飲料の売れ筋、今後の販売戦略等の紹介

協力企業：(株)オークワ、(株)セブン-イレブン・ジャパン、  
(株)フィールコーポレーション

3. 知識の普及・消費の増進に関する事業

発酵乳・乳酸菌飲料に関わる情報を「乳酸菌ニュース」、「はつらつファミリー」及び「協会ホームページ」に掲載した。

(1) 「乳酸菌ニュース」

ア 掲載内容

(ア) 学術情報

－乳酸菌とビフィズス菌の基礎講座 (信州大学 細野名誉教授)

第一回：乳酸菌とビフィズス菌の一般特性

第二回：乳酸菌とビフィズス菌の糖代謝と発酵

第三回：プロバイオティクスとしての乳酸菌とビフィズス菌

(イ) 行政情報

－食品用器具・容器包装の規制のあり方検討会中間とりまとめについて (厚生労働省)

－牛乳乳製品の輸出における現状と取り組みについて (農林水産省)

－食品表示法下の執行体制等について (消費者庁)

－年頭挨拶 (関係省庁担当課長)

(ウ) 健康情報

－高齢者に望ましい食事・栄養 (神奈川工科大学 饗庭教授)

－免疫を整える食品 (麻布病院 高橋院長)

－胎児期の栄養状態が生涯の健康を左右 (早稲田大学 福岡教授)

－若年女性アスリートの栄養問題とその対策

(大妻女子大学 小清水教授)

(エ) 統計情報

発酵乳・乳酸菌飲料の生産量及び都市別1世帯当たりの支出金額

(オ) その他の関係情報

関連書籍、新聞雑誌での掲載記事等

イ 発刊頻度/部数：年4回/各1,200部

ウ 配布先：会員、関係行政機関、消費者団体、マスコミ等

(2) 「はっらっファミリー」

ア 掲載内容

－生活習慣病の予防

－腸内細菌叢の改善

－児童及び高齢者の生活改善

－乳酸菌の基礎知識

イ 発刊頻度/部数：年3回/各10,000部

ウ 配布先：会員、関係行政機関、栄養士会、消費者センター等

(3) 「協会ホームページ」

ア 新規掲載事項

(ア) 学術情報：乳酸菌とビフィズス菌の基礎講座

(イ) 発酵乳・乳酸菌飲料のプロモーションビデオ

(ウ) その他

－統計情報

－「食品衛生セミナー」及び「食品表示セミナー」のテキスト

イ 更新頻度：年5回

ウ ホームページ利用状況

アクセス数：1,312,861件

※昨年比100.4% (昨年度 1,308,014件)

(4) 「発酵乳・乳酸菌飲料に関する消費実態調査」の実施 (新規)

発酵乳・乳酸菌飲料の商品開発及びマーケティングの改善に資するため、

① 購入の動機(味、価格、広告、機能性等) ② 喫食の場面 ③ 今後の改善点等について焦点を当て、全国の消費者モニターを対象として消費実態を調査した。

(調査結果は、CDに収めて本年3月、会員宛て送付。)

#### 4. 情報・資料の収集及び周知・紹介に関する事業

##### (1) 法令関係

関係省庁から公表された食品衛生関係、食品表示関係等の情報を、速やかにメール及び文書により会員へ伝達した。

##### (2) 海外情報

(公社)日本食品衛生協会が主催した「第41回欧州食品衛生調査団」に運営委員を派遣して、ヨーロッパにおけるHACCPの導入状況及び法規制等について調査した。

(調査概要は、乳酸菌ニュース春季号に掲載。)

##### (3) 乳製品の輸出促進関係情報

政府が主導する乳製品輸出促進事業の一環として、中国上海市における乳製品市場の調査、特に日本製乳製品の可能性について調査した。

(調査概要は、(一社)日本乳業協会ホームページに掲載。)

##### (4) 訪問販売の規制に関する情報

訪問販売に関する適正な規制を目的として、経済産業省及び関係団体と連携を密にして、関連情報の収集等を行った。

#### 5. その他本会の目的達成に必要な事業

##### (1) 相談事業

発酵乳・乳酸菌飲料の特性・品質に関するマスコミ、会員等からの問い合わせに対応した。(電話、メール、FAX等)

問合せの件数：合計69件

※内訳：マスコミ15件、会員18件、消費者10件、その他26件

##### (2) 環境対策事業

紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等の3R関係団体を実施する展示会への人材派遣等、食品容器包装の環境問題の啓発活動に参加した。

##### (3) 新会員の勧誘等

非会員に対して、食品表示セミナー、表示研修会及びビフィズス

菌検査研修会への参加を呼びかけるとともに協会・協議会への加入を勧めた。平成28年度においては、正会員として「萩原乳業(株)」の入会、「北海道保証牛乳(株)」の退会があった。賛助会員としては、「(株)エヌテック」の入会があった。

これにより、平成28年末会員数は、111社（正会員54社、賛助会員57社）となった。

	H28.3	H29.3	増減
正会員	54社	54社	なし
賛助会員	56社	57社	1社増
合計	110社	111社	1社増

以上

(注) 事業報告に係わる附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。